

# 分析結果報告書〔0〕1/2

## 1. 土壌試料

### 1. 0 土壌試料（検液の作製）

機関コード	
機関名	
電話番号	
国際的な認証等の取得（複数回答可）	1. ISO 9001～9003      2. ISO/IEC 17025 3. 品質マネジメントシステム(QMS)を構築している（上記1～2を取得していない）
分析担当者名	
分析担当者の経験年数（年）	（      ）年
分析担当者の実績 （年間の分析試料：試料/年）	（      ）試料/年
分析担当者以外の分析結果の確認	1. あり      2. なし

#### <含水率>

分析結果（%）注）	
-----------	--

注）分析結果は有効数字3桁で記入する。複数回分析している場合では平均値を記入する。

#### <試料受領から分析開始までの日数>

分析開始までの試料保存日数（鉛） 注）	（      ）日
分析開始までの試料保存日数（砒素） 注）	（      ）日

注）試料受領から前処理開始までの保存期間。

#### <試料量>

	1回目	2回目	3回目
鉛分析用（風乾重量）（g） 注1）注2）	（      ）g	（      ）g	（      ）g
砒素分析用（風乾重量）（g） 注1）注2）	（      ）g	（      ）g	（      ）g

注1）鉛、砒素分析用試料が同じ場合も、それぞれの欄に重さを記入する。

注2）配布された風乾土としての重量を記入する。

#### <試料液の調製>（3回の併行のために試料液の調製以降は1～3回で概略同様であり、1回目の条件を記入する）

塩酸 1 mol/L の種類	1. 自社調製      2. 市販品（塩酸 1 mol/L 溶液）      3. その他（      ）
塩酸 1 mol/L の使用量（mL）	（      ）mL
容器の種類	1. ポリエチレン瓶      2. ポリスチレン瓶      3. ガラス瓶 4. その他（      ）
容器の体積（mL）	（      ）mL

#### <試料液調製後の放置時間>

土壌試料に塩酸溶液を加えてからの溶出操作（振とう）までの放置時間（時間）注）	（      ）時間
--	------------

注）時間単位で記入する（例えば、30分では0.5時間とする）。なお、試料液の調製後直ちに振とうした場合には0（ゼロ）時間とする。

#### <溶出（振とう）操作>

容器の置き方/振とう方向	1. 横置き/横振り      2. 横置き/縦振り      3. 縦置き/横振り 4. 縦置き/縦振り      5. その他（      ）
気温（室温：℃）	（      ）℃ 注1）
気圧（hPa）	（      ）hPa 注2）
振とう機	（      ）回/分
振とう幅（cm）	（      ）cm
振とう時間（時間）	（      ）時間 注3）
方法	1. 連続振とう      2. その他（      ）

注1）振とう開始時の気温（室温）の概略値を記入する。

注2）振とう開始時の気圧の概略値を記入する。

注3）時間単位で記入する（例えば、30分では0.5時間とする）。

# 分析結果報告書〔0〕 2/2

## <振とう後の放置時間>

振とう終了からろ過（又は遠心分離）までの放置時間（時間）	（ ）時間 注）
------------------------------	----------

注）時間単位で記入する（例えば、30分では0.5時間とする）。なお、振とう後直ちにろ過した場合には0（ゼロ）時間とする。

## <ろ過等>

遠心分離	実施の有無	1. 実施した	2. 実施しなかった
ろ過	実施の有無	1. 実施した	2. 実施しなかった
ろ過の種類メーカー	孔径 0.45 μm のメンブレンフィルター(MF) 1. 東洋濾紙（アドバンテック東洋）      2. ミリポア      3. ワットマン濾紙 4. その他（ ）		
型式	型式（ ） 記入例：東洋濾紙では「A045A047A」		
方法	1. 吸引ろ過      2. 加圧ろ過      3. 自然ろ過      4. その他（ ）		

## <試料液（1 mol/L 塩酸溶出液）の調製後>

振とう終了から測定（各金属の分析）までの時間（時間） 注1）	鉛（ ）時間 砒素（ ）時間
試料液の保存状況 保存方法 保存温度（℃） 注2）	1. 冷暗所      2. 室内（室温）      3. その他（ ） 約（ ）℃

注1）試料液調製後直ちに分析に必要な量をはかり取った場合には、0（ゼロ）時間とする。分析金属ごとに記入する。

注2）保存していない（試料液調製後直ちに分析に必要な量をはかり取った）場合には、記入する必要はない。保存温度は概略を記入する。